

保護者の皆様

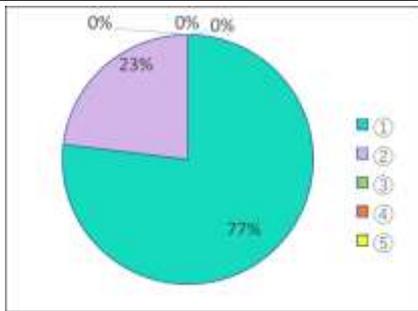
千代田区立九段幼稚園  
園長 横澤 峰紀子

## 幼稚園教育についてのアンケート報告

保護者の皆様にご協力いただきました幼稚園教育へのアンケートの集計結果についてご報告いたします。年の瀬も押し迫った忙しい中ご協力をいただき、ありがとうございました。アンケートにはお褒めの言葉や具体的なご意見等もご記入いただきました。これらの結果を真摯に受け止め、よりよい九段幼稚園になるよう、なお一層保護者の皆様との連携を深め、教職員一同努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

①とてもそう思う ②まあまあそう思う ③あまり思わない ④まったく思わない ⑤分からない

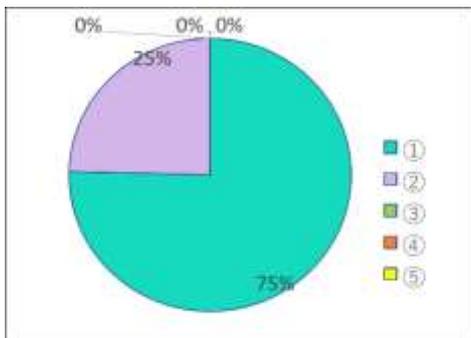
### 1 幼稚園は一人一人の子どもを理解し、子どもの思いや考えを大切にしている。



100%「(とても) (まあまあ) そう思う」とご回答いただきました。記述からは日頃の子どものやりとりを通して、また、降園時や面談等の話から一人一人の子どもを理解している、大切にしている、と受け止めていただいていることが分かりました。

引き続き、お子さんが幼稚園を楽しみにしながら登園し、保護者の方々にも、安心して幼稚園に預けていただけるように努めてまいります。

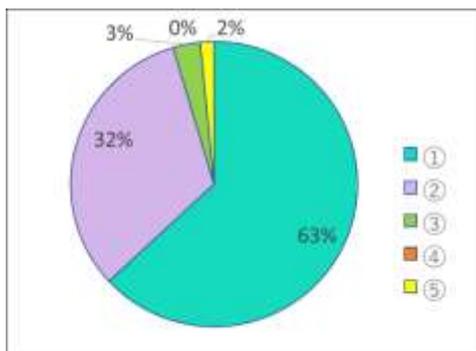
### 2 幼稚園は、日々の遊びの充実を図るために、年齢や発達に合わせた保育内容や環境の工夫をしている。



100%「(とても) (まあまあ) そう思う」とご回答いただきました。お子さんの成長した姿から、また園で行っている製作活動や運動遊びなどの刺激を受けて、家庭でも同じような姿が見られ、遊びの充実や成長を感じられているとご回答をいただきました。さらに、異学年での交流や楽器を使った遊び、昔話などの読み聞かせなどの充実を望まれる声もありました。

今後も年齢や発達に合わせた保育内容や環境の工夫をしていくとともに、様々な経験を積み重ねられるよう工夫し、さらに、保育内容や成長の様子を丁寧に伝えていくよう努めてまいります。

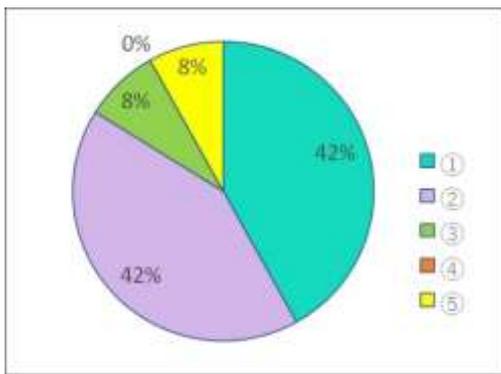
### 3 幼稚園は、園内研究で「学びに向かう力(興味や関心をもって物や人と関わる力)(人とつながる力)(粘り強く取り組む力)」に着目し、環境の工夫をしてきた。子どもの姿から成長を感じられる。



95%「(とても) (まあまあ) そう思う」、5%の方が「(あまりわからない) (わからない)」とご回答いただきました。ご家庭でのお子さんの変容(今まで以上に興味をもって関わるようになった、自転車に乗れるようになりたいと粘り強く取り組むようになった、友達に自分の思いを伝えたり友達の思いを聞いたりする経験から人とつながりや助け合うことの大切さを学んでいるように感じた等)から、環境の工夫や教師の援助が「学びに向かう力」につながってきている、とお答えいただいていることが伺えます。

今年度の研究での成果を、今後も保育の中で生かし、遊びを通して、「学びに向かう力」を育ててまいります。

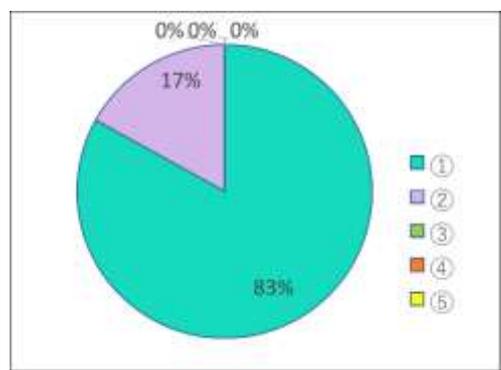
4 幼稚園は、学校2020レガシーとして、スポーツ等への興味や関心が高まるよう、また、体力向上を目指して、意図的・計画的に運動遊びを取り入れている。



「あまり思わない」「分からない」という回答が16%あり、他の回答と比較すると、具体的な活動が見えにくかったこと、お子さんからの話があまりなかったことなどが分かります。一方で様々な活動（ボッチャやコーディネーショントレーニング、ジャイアンツアカデミー、多様な運動遊び等）の様子から、「スポーツへの興味が高まってきた」「体力が向上してきた」とのご意見もいただきました。

子どもたちの実態に基づき、興味や関心を高める工夫をしながら、日常的に体を動かすことを楽しめる活動を取り入れ、体を動かすことの楽しさを十分に味わうとともに、体力向上を目指してまいります。

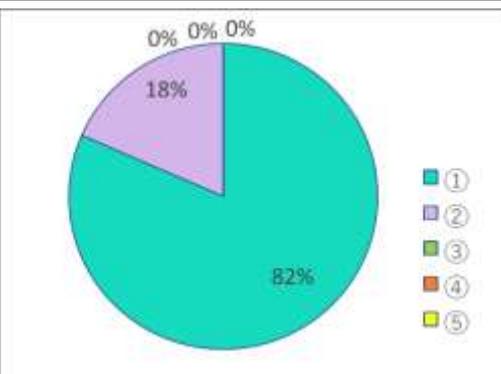
5 幼稚園は、園庭での栽培や飼育、園外活動などを通して自然や生き物への興味や関心、親しみの気持ちをもてるよう努めている。



100%「そう思う」とご回答いただきました。園庭やピロティ、玄関等で植物や生き物の様子を見られること、また、お子さんの植物への関心が広がったことなど、身近な環境の中で自然に触れられることよさを感じていただいていることが分かりました。また、北の丸公園や日比谷公園など近隣の公園ももう少し活用してほしいというご意見もいただきました。

今後も、計画的に植物の栽培や生き物の飼育を行うとともに、生き物や植物と触れ合える環境や活動を工夫していきたいと思えます。また、遠足で利用できる公園なども検討したいと思えます。

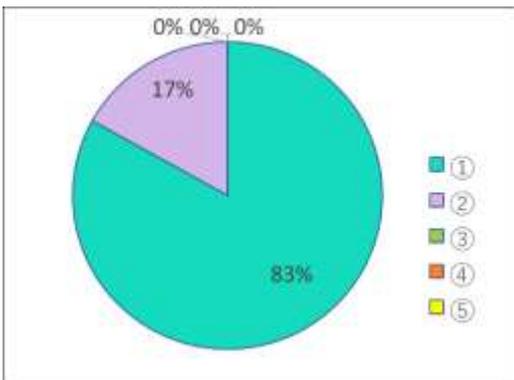
6 幼稚園で行う特色ある教育活動【花と友達・自然となかよし・坪田マンと遊ぼう・パネルシアター鑑賞・バイオリンコンサート等】は、子どもの遊びや生活を豊かにし、創造したり表現したりする力を培う一助となっている。



100%「(とても) (まあまあ) そう思う」と、ご回答いただきました。それぞれの活動について、内容やその様子など、子どもたちの印象に残ったこと、感じたことなどをご家庭で話したり再現したりする姿から、貴重な経験や学びにつながっていると受け止めていただけていることが分かりました。

次年度も、子どもたちの実態に合わせた活動となっていくよう、また日常の遊びや生活が豊かになっていくための経験となるよう、発達に合わせ計画的に取り組んでまいります。

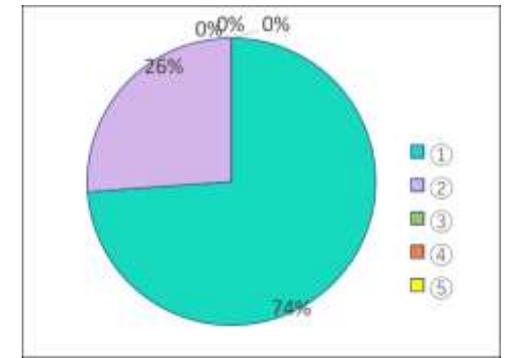
7 園だよりや学年だより、遊びの様子の掲示、保護者会や個人面談、保育参観等は、わが子の様子や育ちを理解する機会になっている。



100%「(とても) (まあまあ) そう思う」とご回答いただきました。特に、毎日の遊びの様子や写真の掲示が分かりやすい、個人面談や学級懇談会、降園時の話から、園での様子がよく分かり安心できる、という多くのご回答をいただきました。保育参観では一斉での活動を見たい、保護者会や講演会などは未就園の託児サービスが欲しい、オンラインも活用して欲しいというご意見やご提案をいただきました。

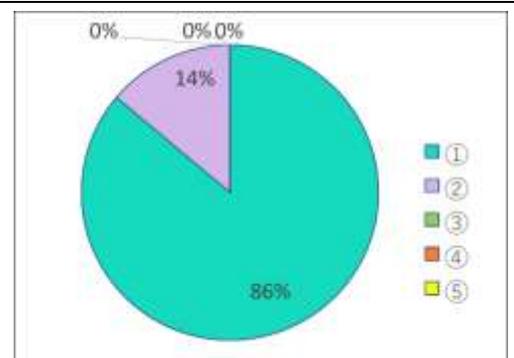
保育参観は年間を通して、様々な様子や場面を見ていただけるように活動を考慮しながら計画しております。また、保護者会等の託児については、職員配置が難しいため、会場内に遊びのコーナーを設定していますので、ぜひご利用ください。

8 幼稚園からの情報発信の方法は適当である。  
【お便りの発行・電話連絡・すぐる・掲示物・Teams・ホームページ 等】



100%「(とても) (まあまあ) そう思う」とご回答いただきました。「すぐる」配信で手紙等が配信され便利である、エコにもつながっているとご感想をいただいています。また、どのような手紙が「すぐる」配信で紙面配付されるかが分かりにくいというご意見もいただきました。園発行の配付物は基本、配信とし、必要に応じて紙面で配付させていただいています。区や地域からのお知らせ等、紙面で園に配付されたものは、そのまま、紙面配付させていただいています。区の方針も踏まえながら、できるだけ、ペーパーレス化に取り組んでまいります。

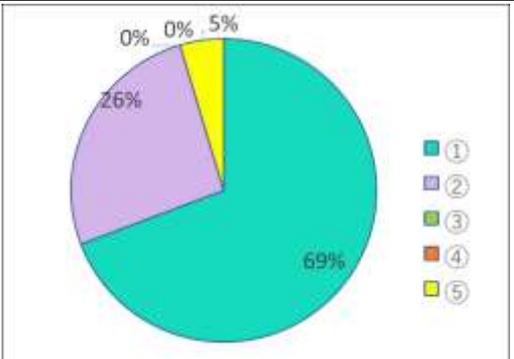
9 幼稚園は、家庭からの連絡や相談に適切に対応している。



100%「(とても) (まあまあ) そう思う」とご回答いただきました。「よく話を聞いていただいている」「相談した内容に対して迅速に対応してくださっている」などご回答くださいました。また、園内で流行っている風邪の状況など教えてほしいというご意見もありました。

今後も教職員間で必要な情報は共有し、全教職員で全園児を見守れるよう各ご家庭と連携しながら園運営に務めてまいります。また、インフルエンザやノロウイルス等、園内で流行してきた際には、これまで通り状況に応じて、情報を共有してまいります。

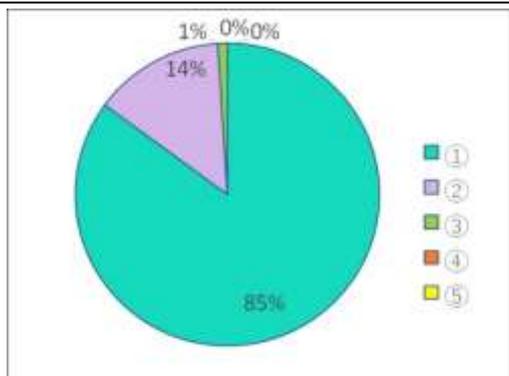
10 幼稚園は、PTA組織(さつき会)と連携しながら教育活動を行っている。



95%「(とても) (まあまあ) そう思う」、5%の方が「(分からない)」とご回答いただきました。さつき会役員と職員が話している様子を見ることがあり、コミュニケーションを取っていることが分かるという感想をいただきました。一方で、どのようなことが連携して行っているのか分からないというご意見もいただいております。

今年度も、模索しながらの一年となりました。コロナ前と同じような活動の再開とまではいきませんでした。講演会や子どもたちへの読み聞かせ等、工夫しながら取り組んでいただきました。今後も子どもたちのために出来ることをさつき会の皆様と共に考え、より充実した活動となるよう協力してまいります。また、来年度は開園30周年の記念の年でもあります。地域に根ざした九段幼稚園として、地域の方々にも愛される園となるよう、さつき会の力を存分に発揮していただきたいと思います。

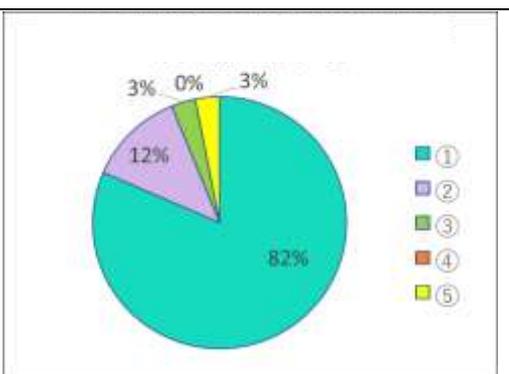
1 1 幼稚園は、子どもの安全で安心な生活に様々な配慮をしている。



99%「(とても) (まあまあ) そう思う」1%「(あまり思わない)」とご回答いただきました。子どもの様子から「ジャングルジムはなぜ、リュックを背負って登ってはいけないのかを子ども同士で話していたということから、日頃から丁寧に安全指導されていると感じた」とご感想をいただきました。

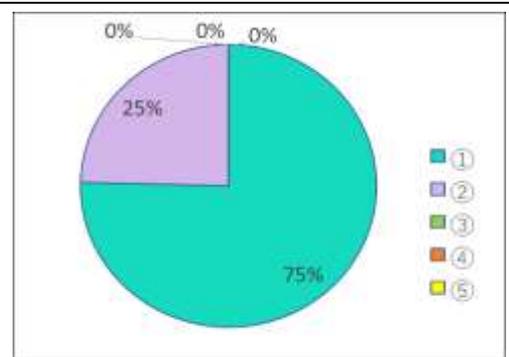
園外の安全も含め、引き続き、子どもの安全で安心な生活を確保できるよう努めてまいります。また、日々の安全点検とともに、定期的に多様な視点で安全点検を行い、職員同士が安全に対する意識喚起をしながら取り組んでまいります。

1 2 預かり保育（くすのき）の実施や園庭開放は、子育ての支援になっている。



94%「(とても) (まあまあ) そう思う」6%「(あまり思わない) (わからない)」とご回答いただきました。「異年齢の関わりが増えてよい」「子育ての支援になっている」と、預かり保育自体は好評価をいただいている一方で、「定員を超えている日が多く、定員を増やしてほしい」「預かり保育の担当職員を増やしてほしい」「直前まで申し込みをできるようにしてほしい」等のご要望もいただきました。来年度に向けて、預かり保育を拡充できるよう努めているところではありますが、现阶段では難しく、保護者の方のご協力もいただきたい状況です。預かり保育の質も担保しながら、現状で出来る範囲の預かり保育を行うとともに、次年度の方法等も検討してまいります。引き続きのご理解・ご協力をお願いいたします。

1 3 小学生の様子を間近で見たり、休み時間に関わったりすることで、子どもたちの人との関わりや生活が豊かになっている。



100%「(とても) (まあまあ) そう思う」とご回答いただきました。今年度は中休みに小学生と一緒に遊んだり、授業の様子を見に行ったりして交流活動の機会を再開いたしました。子どもたちの様子から「就学の期待につながっている」「校庭で会った際、優しく接してくれた」などご感想をいただきました。引き続き、無理のない形式で、小学生との交流活動が充実したものとなっていくよう工夫しながら、取り組んでまいります。

## その他のご意見として、

お子さんの成長に関する喜びの言葉や、園への励ましの言葉等、多くの励みになるお言葉をいただきました。ありがとうございます。

またその他にも、より充実した教育活動となるよう、ご提案やご要望等もいただいています。

## ご要望など

### 【教育活動について】

- ・マスクの着用について（戸外ではマスクを外して遊んでほしい マスクの着用は必要ないのでは）

→幼児のマスク着用は一律に求められていませんが、園は密な集団生活であることや感染状況等を鑑み、園内では、通常時は着用し状況に応じて外すなどの対応をしてきました。また戸外では、体を動かして遊ぶ状況では外すよう声を掛けてきました。今後も、基本的な感染対策を講じながら、感染状況の位置付けの移行等も踏まえ、様々な対応について検討し、子どもたちが安全・安心に過ごせるよう努めてまいります。

- ・在園児以外の乳幼児への園庭開放をした方がよいのでは

→今年度は、在園児の皆様にお声掛けしてきた園庭開放でしたが、より地域の皆様にもご利用いただけるよう検討してまいります。

- ・小学校入学に向けた準備になるような活動を取り入れてほしい

→園では、小学校教育の先取りではなく、幼児期にふさわしい生活を通して、子どもたちの発達段階に応じ、創造的な思考や主体的な生活態度等の基礎を培ってきました。それらの基礎が小学校生活や学習の基盤へと結び付いていくと考えます。また、学級のみならず一緒に話を聞いたり、協同して遊んだりする経験などを重ねることが、小学校教育へとつながっていくと考えます。就学前のご家庭では、お子さんと小学校生活を話題にしながら、前日の準備や帰ってきてからの所持品の始末など、自分のことを自分でやってみようとする気持ちや態度を育めるよう取り組まれていることと思います。引き続き、園と家庭とで連携しながら、子どもたちが安心して、また自信をもって就学できるよう支えていきたいと思っております。

### 【その他】

- ・給食提供の希望について

- ・預かり保育について 柔軟な対応をしてほしい

（預かり保育については質問12でも様々なご意見をいただきました）

- ・写真販売の再販について

→様々なご意見をありがとうございます。園として取り組める可能なこと、教育的意義等を考えながらご対応させていただきます。

たくさんのご意見、また、各項目へのご回答をありがとうございました。いただきました貴重なご意見等を踏まえ、今年度の教育課程を見直し、次年度の教育課程がより充実したものとなるよう編成してまいります。ご協力ありがとうございました。